

川上社長のコラム

先月は、梅雨時期なのに雨が降ってないけど大丈夫かな？ と思っていたら、一昨年の九州北部豪雨災害を思い起こさせる、激しい雨の予報に「ブルッ」と緊張が走りました。幸いにも北部九州では大きな災害に発展するような事がなく、ほっとしていますが、南九州では大きな被害が出ており、被災された皆様にはお見舞い申し上げます。

6 月を終えて、当社の 1 年の 3 分の 2 が終わりました。総売上は順調に昨年より約 4% の増加で推移していますが、このうちの約 2.5% が庸車売上増加によるものですので、私たちが自社で売り上げた分は約 1.5% の増加になります。

毎年、働ける時間が減ってきている中で売上が伸びているのは、それぞれが無駄を無くす努力を日々実行している結果だと思えます。大いに感謝しています。ありがとうございます。

しかしその一方で非常に残念なのは、事故弁済金が半年で昨年の一年分の金額に達している事です。  
(4 月までの事故弁済額 約 730 万円。一人当たり、約 26,000 円。)

不幸中の幸いで、大きな事故や人を傷つける事故は無いのですが、ちゃんと見てさえいれば事故にならなかったはずの構内事故が多発しており、誰も喜ばないお金が出てばかりの現状です。

また、しばらく見られなかった、点呼時の残酒やスピード超過を指摘される方が散見されるようになりました。緊張感が少し薄れてきているようで心配です。  
「ハインリッヒの法則」思い出してください。  
また一步、大きな事故へ近づくことになります。

近頃は、高齢者の事故ばかりが目立って、スマホの事故などの報道が少なくなっていますが、相変わらず飲酒による事故、スマホの脇見による事故は減っていないようです。当社一皆さんは、このような事故だけは無いと信じていますが、気が緩んでいると魔がさすことがあると言いますので十分に注意していきましょう。